

◆ 主 題 名 (生徒に提示するもの)	個性の尊重
------------------------	-------

内容項目	見出し	教材名
C - 11	公正・公平、社会正義	リスペクトアザース
価値項目 1・2・3・4		
誰に対しても公平に接する。 差別や偏見のない社会の実現に努める。		
本時のねらい ・ 誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に寄与したいという意欲をはぐくむ。		

L  
i  
n  
k

主題発問に向かうための導入・場面発問	
導 入	発問 「Respect Others」の意味を考えよう 補助発問
場 面 ①	発問 「リスペクトアザース」はいつ使う言葉なんだろうか。 補助発問
場 面 ②	発問 日本にはリスペクトアザースの世界は本当はないのか？ 補助発問 「リスペクトアザース」したこと・されたことを考えよう
場 面 ③	発問 アメリカにはいつなんどきも「リスペクトアザース」あるのか？ 補助発問 人種差別問題を取り上げ、文化や国はあまり関係ないことを示す。

◆ 主 題 発 問	「リスペクトアザース」実現のために必要なことは何だろうか。
-----------	-------------------------------

◆ 学 び 合 い 活 動	場面発問①	場面発問②	場面発問③	主題発問
	個 ⇨ ( ペア ・ グループ フリー ) ⇨ 個			

留 意 点 等	
------------------	--

授 業 後 の 振 り 返 り	教材の内容を読むと、「公正・公平」よりも「相互理解・寛容」に近いように感じた。そこで、差別問題と絡めて発問をしたが、難しかったようだった。ただ、感想で「相手が誰であろうか…」や「誰に対しても…」という記述が見られたのは良かった。
--------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------